日本海洋学会2015年度第4回幹事会議事録（案）

日時：2015年9月26日（土）18：00～20：00

場所：愛媛大学共通教育講義棟講34教室

出席：日比谷会長、神田副会長、市川、伊藤、小埜、小畑、河野、齊藤、津田、東塚、原田、山中、事務局毎日学術フォーラム（小野、平坂）

議題：

1. 議事録案確認（伊藤幹事）

2015年度第3回幹事会の議事録を承認した。

1. 審議事項
2. 入退会について（小畑幹事）

2015年6月～7月の入退会を承認した。7月現在の会員数は1718名。

1. シンポジウムの後援・協賛などについて（小畑幹事）

2件の後援・協賛依頼について承認した。

1. 募集・推薦などの依頼について（小畑幹事）

公募・推薦の依頼5件、転載許諾1件、その他通知3件について、適宜ML配信などの対応を行ったことが報告された。

1. 2015年度若手海外渡航援助（後期）について（神田副会長）

前期・後期の2回の募集をするべきところ、前期に予定予算分の採択をしたことについて説明があった。後期分について1名の応募があり、予算を増額し、前期の応募への状況に合わせ80,000円上限で採択する提案があり、承認した。

1. 2015年度評議員会議事次第案について（小畑幹事）

評議員会の議事次第および資料についての説明があり、承認した。

1. 2015年度選挙について（山中幹事）

各賞可否投票、賞選考委員半数改選について提案され、承認した。

過去の委員のリストを同封するかは次回議論することとなった。

1. プログラム編成委員会の設置・指名・任期の確定について（山中幹事）

2016年度春季大会のプログラム編成委員会の設置・指名・任期について提案があり、承認した。

1. プログラム編成委員会のロジ明確化について（山中幹事）

セッション・プログラムはプログラム編成委員会で確定すること、招待講演はコンビーナーが申請しプログラム編成委員会が承認すること、招待状が必要な場合は大会実行委員会名で発行することが確認された。

プログラム編成委員会を恒常的に設置する場合には、委員会内規等の整備も検討する必要が指摘された。また、今後の委員の構成については、幹事会および大会実行委員会から各1名を最低限の構成員とし、具体的な構成は今後検討を重ねることになった。

1. 平成27年度青い海助成事業への申請事業の採択について（小埜幹事）

2件の推薦が海洋環境委員会からあったが、2件とも実施年度が平成28年度であるため、次回の幹事会で再度検討することとした。

1. 会計年度・事業年度について（日比谷会長）

JpGUとの合同大会の検討に付随して、必要となる会計年度・事業年度の変更について、事前にメーリングリストで検討した内容の紹介があった。JpGU連合大会のときに総会を行う会場を無料で貸し出しする方針があることも報告された。幹事会にWGを設置し、会計年度・事業年度等も含め、2016年3月の総会までに今後の方針の骨子案を検討することが提案され、承認した。また、骨子案の内容については、臨時幹事会も経て、検討を進める方針が確認された。WGメンバーとして、神田副会長、河野幹事、齊藤幹事、小畑幹事、東塚幹事、山中幹事、伊藤幹事、学会事務局の平坂氏、小野氏、が任命された。

1. 報告事項
2. 会長（日比谷会長）

日本海洋学会員に2016年度春季大会におけるセッション提案制の導入のお知らせおよび2017年度以降の春季大会のJpGUへの合流の提案を行ったことが報告された。（資料8）。

マスタープラン2017に関するアンケートへの回答を提出するとともに大型研究計画に関するWGを中心にマスタープラン2017への提案内容を策定したことが報告された。

1. 副会長（神田副会長）

震災対応、若手支援の項参照。

1. 庶務（小畑幹事）

関係資料を10年分は保管するが、それ以前のものはスペースのため、廃棄することが報告された

1. 会計（河野幹事）

会計業務がうまく進んでいることが報告された。

1. 編集
	1. JO（日比谷会長）

ホットスポット特集号がspin off出版となり、正式な覚え書きを交わす予定であることが報告された。

また、2016年2月に震災特集号が発行予定であることが報告された。

特集号のゲスト編集者の役割について明確化する必要があることが報告された。

* 1. 海の研究（市川編集委員長）

9月15日付けの24巻5号刊行が遅延しているが、近日中にウェブ公開し、10月上旬に配本する予定であることが報告された。

* 1. JOS-NL（津田編集委員長）

次号の原稿締め切りが9月末であること、毎号の巻頭ニュースを募集していることが報告された。

1. 研究発表（山中幹事）

2015年度秋季大会の状況、2016年度春季大会に向けたセッション募集のアナウンスおよび今後のスケジュールについて報告された。

1. 広報委員会（原田幹事）

広報委員会の委員が伊藤幸彦会員、上野洋路会員、藤井賢彦会員、二村彰会員に決定したことが報告された。

1. 教育問題研究会（市川幹事）

教育問題研究会の諸活動について、資料に基づき報告があった。

1. 日本地球惑星科学連合（原田幹事）

2017年春の連合大会の予定、代議員選挙の予定および参加費の改訂について報告された。また国際セッション提案状況が報告された。

1. 日本科学振興財団（日比谷会長）

研究船と練習船に関する委員会に、日比谷会長が参加していることが報告された。

1. 震災対応（神田副会長）

原子力学会が設置した連絡会に日本海洋学会からも参加することが報告された。

1. ブレークスルー研究会（小畑幹事）

シンポジウムを開催したこと、他学会との交流を強化していく試みを進めることが報告された。

1. 若手支援（神田副会長）

9月28日に若手との意見交換会があることが紹介された。

1. 海洋観測ガイドライン編集委員会（河野幹事）

9月末に日本語版を刊行する予定であることが報告された。

1. 「海の温暖化（仮題）」の出版について（原田幹事）

日本海洋学会出版事業としての編集方針が報告され、評議員会に諮ることになった。

次回幹事会は11月に開催する。